

## 校内授業研修のまとめ（2学期）

研修部

—— 10月29日 校内授業研修の感想 ——

### 現代文

・考えさせようとヒントを与えやっっていることが良かった。また生徒が答えた部分が教科書にある場合はそれをページ数、行数を言って提示し、しっかりと確認させている点は見習いたいと思った。ただ、大切な部分を板書し、それを色チョークでマークするだけでなく、言葉でも何回か繰り返すと、なお生徒達に浸透するのではと思った。

・授業の展開については、発問や生徒の反応をもう少し具体的にイメージして指導案を作成すると良いと思った。しかしながら、丁寧な指導からは人柄が伺え、生徒達の授業に臨む姿勢も真剣であり、好感が持てた。

・生徒に理解してほしいことを漏らさず正確に理解させようとしていた点が参考になりました。50分間の授業展開を考えると、導入部分に時間がかかりすぎたので、思い切って削る部分を準備しておけばもっとよい授業になったと思いました。

・生徒への発問を中心にした双方向的な授業展開で良かったと思う。また、解答の根拠も本文中に追求していく客観的な解法を重視しており、参考になった。解答が一つに限られていないオープンな発問も織り交ぜるとさらに発想力などの訓練ができるかと感じた。

・文章の要点をとらえさせる発問が的確になされていたと思います。自分の言葉でまとめて答えるように求めていた点もよかったと思います。

・生徒が発言する機会を多く設けているのは良かったです。生徒が自分の言葉で説明しなければならぬような発問がもう少しあれば良かったと思いました。

・非常に丁寧に根拠を追っていて、わかりやすい授業でした。しかし、前時の復習に時間がかかっていたため、今回の中心となる部分の読解ができなかったのが残念でした。

・文章ひとつひとつを丁寧に追い、その表現の根拠を追究できる分かりやすい授業でした。語彙にも注目し、丁寧に確認することは文章を読む上で非常に大切なことだと実感しました。

・記憶に残る授業でした。「通過儀礼」の具体的な説明、例があってもよかった（前時に説明済みかもしれませんが）。次はどのような展開になるのか？といった期待を抱かせる点、文学的なのかと思った。

## 日本史B

・生徒に問いかけ、さらに質問を重ねて突き詰めていく発問スタイルが印象的だった。親鸞の悪人正機説における「善人」「悪人」について、通常私たちが考える感覚との違いを利用して穴埋めをさせて理解させた部分は驚きだった。

・視聴覚教材が効果的に使われていて良かった。先生の声がハキハキしていて、元気で良かった。生徒の発言の機会が多くて良かった。

・文化や宗教など、その時代の空気をいかに生徒に伝えるのか工夫が必要なところだが、視聴覚機器を使ったアプローチなど参考になった。

・最も感動した所としてプロジェクターを使用して写真を提示していたところです。生徒の興味を引き、強調していた部分が明確でした。生徒目線の授業でした。今後の参考にさせていただきます。・普段、おとなしめと思われるクラスの積極性を伸ばそうとして、発問を工夫し、生徒の発言を引き出そうとしている努力が見られた。発問が1対1のケースが多かったので、生徒から授業者を介してでも、全員にフィードバックされる場面があれば、より深まると思う。

・鎌倉新仏教の浄土宗・浄土真宗・時宗の思想内容と布教背景にポイントをしばった展開であった。発問を多く取り入れ、ほぼ全員の生徒に当てて生徒とともに授業を練っていきこうという姿勢に感心した。時間があれば、『歎異抄』の史料解釈の続きができたなら、さらに深まったと感じた。

・一方的な講義形式になりがちな宗教・思想の内容を、的確な発問をもとに生徒の思考を促しながら展開していった魅力的な授業であった。悪人正機説について、もう少し詳細な説明があればより理解が深まったように感じた。

・資料（写真）をスクリーンに映し出して紹介していたのは生徒全体に伝える上で効果的だった。生徒の積極的な発言や質問に対する受け答えもしっかりしていたが、若干生徒の音量が足りなかったのが残念だった。

・視聴覚教材を使い、生徒にとってわかりやすい授業であったように感じました。生徒の興味・関心を引き付ける工夫を自分の授業でも参考にしたいと思った。

## 数学

・生徒に考えさせ、発言させるという課題はある程度達成されていた。発言の声が低かったり、語尾が聞こえなかったり、あるいは単語だけであったりすることが本校の課題の一つであるが、本時の授業はその点の指導がよくなされていた。ただ、最大のねらいである{方程式の異なる実数解の個数} = {グラフの共有点の個数}という関係を考えさせ、生徒に気付かせる数学的思考力の指導を意識した展開であればさらによかった。生徒との信

頼関係が確立されており、真剣な中にも生徒が安心して授業に取り組んでいる点は素晴らしい。

・限られた時間内で、本時のねらいは十分に達成されていたと思う。今後の授業で、等式変形して使う、定数分離で解く問題、解かない問題等の見分けができる、不等式に応用できる等の力を付けながら深めていけば良いと思う。1ヶ月前課題としての観点では、実数解の個数が0個と応えた生徒の発言を広げていっても良いのではと思った。「解けない」と「解なし」の違いを知らせることにより、では、解けない方程式に対してどのようにして異なる実数解の個数を求めるのかとグラフへ誘導しても良かったのではと思った。勉強になりました。ご苦労様でした。

・「実数解が0個」と答えた生徒がなぜそのような考えを持ったか興味があった。その答えを広げていき、全体で考えられれば生徒の理解がより深まったのではないか。生徒は集中して取り組んでおり、普段からの指導の賜物であると感じた。

・生徒との信頼関係が十分感じられる中での授業展開だった。参観されていることを意識していないくらいに生徒たちは落ち着いて授業に参加していた。三次方程式の解と共有点の個数の関係について、導入時にもう少し考えさせても良かったと思う。

・生徒との信頼関係が十分構築されていると感じる良い雰囲気の授業であった。自分の授業とは異なり、生徒たちの発言もしっかりしていた。また1か月前課題への取り組みも意識されていた。生徒の発言を生かす工夫があるとさらに良かったと思う。

・生徒達は真剣に授業者の話を聞き、雰囲気の良い授業でした。適切な指示に生徒が戸惑うことなく授業が進められていました。増減表を書く→グラフを書くといった基本的な技術を確認しながら進められていました。